

令和6年度第1回愛媛県アレルギー疾患医療連絡協議会

次 第

日時 令和6年7月8日 19:00～

場所 愛媛県庁第一別館5階第11会議室

方法 オンラインWEB会議（「ZOOM」を使用）

1 開会

2 課長あいさつ

3 委員紹介

4 議事

(1) 愛媛県アレルギー疾患対策の取組み・・・・・・・・・・資料1

(2) アレルギー疾患医療拠点病院の取組み・・・・・・・・・・資料2

(3) 愛媛県小児科医会の取組み・・・・・・・・・・資料3

5 閉会

令和6年度第1回アレルギー疾患医療連絡協議会議事録

【日 時】令和6年7月8日（月）19：00～20：00

【場 所】オンラインWEB会議（「Zoom」を使用）

【出席者】

○委員

くす小児科 久寿会長

愛媛大学大学院医学系研究科 日浅副会長

愛媛県教育委員会 泉委員

松山赤十字病院 兼松委員

愛媛生協病院 立川委員

愛媛県立中央病院 中西委員

愛媛県栄養士会 永井委員

愛媛助産師会 原田委員

○事務局

健康増進課 中田課長、中原主幹

（難病対策係）中本係長、宇和川主任、山下主事

【議事内容】

○議事1 愛媛県アレルギー疾患対策の取組み

事務局より資料1に基づいて説明。

（愛媛県の状況）

- ・患者調査によると令和2年の愛媛県では、結膜炎が4千人、アレルギー性鼻炎は9千人、喘息は1万5千人、アトピー性皮膚炎は1万1千人が受診している。
※結膜炎、喘息はアレルギー性以外のものも含む
- ・医師・歯科医師・薬剤師調査によると愛媛県のアレルギー科の医療施設従事医師数（人口10万対医師数）は、徐々に増加している。
- ・日本アレルギー学会専門医の資格を持つ医師がいない圏域もある。

（事業の取組み）

- ・アレルギー疾患医療拠点病院を中心とした医療提供体制を構築し、国やアレルギー学会、中心拠点病院、協議会、地域の医療機関、保育者や学校等の関係機関と連携・協力し、事業を展開している。

（市町保健センターのアンケート調査結果と取組み）

- ・乳幼児・児童のアレルギーに関する保健指導の実情を調査したところ、保護者からの相談として離乳食の進め方や、医療機関の情報（受診のタイミングを含む）に関する項目が多いことが分かった。

- ・保健指導の技術向上のため、研修会の開催を希望する声が多く、今年度は市町の保健センター保健師を対象とした研修会の実施を検討している。

【委員意見】

- ・生後 2 か月でアトピー性皮膚炎を含む湿疹を発症し、受診することが多い。発症前からの指導がその後の食物アレルギー等のアレルギー疾患を予防するために重要。
- ・保健指導を実施する中で、妊産婦のアレルギー患者も増えてきており、離乳食の進め方や乳アレルギー用ミルク等の質問を多く受けている。専門職への研修会には助産師も対象に含めていただきたい。
- ・アレルギー専門医の新制度が定まらない中ではあるが、現制度のアレルギー専門医の資格が消失することはないため、アレルギー疾患医療拠点病院としては、アレルギー専門医の資格取得をすすめていきたい。
- ・専門職を対象とした研修内容については、既存のアンケート調査の結果や、今回の市町の保健センターへのアンケート結果を元に、内容や対象者は検討していければ良いと考える。

○議事 2 アレルギー疾患医療拠点病院の取組み

日浅副会長より資料 2 に基づいて説明。

(令和 5 年度 事業報告)

- ① 県民公開講座の開催 - 花粉症について知ろう！
舌下免疫療法に関する情報も含めて、耳鼻咽喉科の医師に県民公開講座を実施した。
- ② アレルギー疾患医療拠点病院ホームページ
領域別のコンテンツを追加する等、内容の充実を行った。
- ③ 愛媛小児吸入療法研究会への支援
気管支喘息を中心とした研修会を実施した。
- ④ 他施設への視察
皮膚科医師を大阪はびき医療センターに派遣し、今年度アレルギー専門医を取得。

(令和 6 年度 事業予定)

- ① 県民公開講座の開催
今年度はぜん息をテーマに公開講座の実施を検討中。
- ② ハンズオンセミナーの開催
令和 6 年 6 月 2 日にハンズオンセミナーを開催。
- ③ 愛媛小児吸入療法研究会への支援
愛媛小児吸入療法研究会への支援も引き続き実施する予定である。
- ④ 症例検討会の開催
アレルギー医療拠点病院内で、診療科の領域を超えてアレルギー疾患に関する症例検討会を実施することを検討している。
- ⑤ 食物アレルギーをテーマとした専門職向け研修会の開催
専門職を対象にした研修会を企画中である。
- ⑥ アレルギーに関する研修会への参加

【委員意見】

・吸入療法研究会では、アレルギー疾患医療拠点病院の支援のもと9月6日金曜日にブラッシュアップ研修会の開催を予定している。今後とも引き続き支援をいただきたい。

○議事3 愛媛県小児科医会の取組み

資料3に基づき久寿会長より説明。

・令和6年度の小児科医会としては

- ① 第17回愛媛子どものアレルギーシンポジウム
- ② 第30回愛媛小児アレルギー懇話会
- ③ 第20回愛媛小児吸入療法研究会
- ④ 愛媛県下で食物アレルギー有病率の調査
- ⑤ 食物除去連絡票の改定

に取り組んでいく予定。

・愛媛県こどものアレルギーシンポジウムは、令和6年8月4日（日）13:30～16:00 愛媛県医師会館5階ホールで実施予定である。

・今年度は教育現場での食物アレルギー対応均てん化のため、学校生活管理指導票を統一していきたいと考えている。

・保育施設の食物アレルギーの対応状況についても調査を実施する予定であり、関係機関への皆様にご協力いただき感謝している。

【委員意見（関係機関の取組み）】

・エピペンが処方されている子供がいる学校では、実地での対応訓練を実施している。

・10月3日に教職員や学校医を対象とした文部科学省主催の講習会がある予定。

・アレルギー協会のアレルギー週間に合わせて、松山赤十字病院で公開講座を実施していたが、今年度の開催は未定。開催する場合はお声かけさせていただきたい。

・愛媛県栄養士会では、一般向けに成人も含めた研修会を実施する予定であり、愛媛県と拠点病院に後援をいただきたいと考えている。

・その他イベント等あれば、広報や後援等、拠点病院として協力できることは実施していきたい。

議事 1 「愛媛県アレルギー疾患対策の取組み」



令和6年7月8日
愛媛県アレルギー疾患医療連絡協議会事務局

内容

① 愛媛県の状況と事業の取組み

② アンケート調査の結果と今年度の取組み

アレルギー関連総患者数

資料：患者調査（千人）：総患者数（愛媛県及び全国）、傷病小分類

区分	疾患名	H17	H20	H23	H26	H29	R2
愛媛県	結膜炎	6	3	1	2	3	4
	アレルギー性鼻炎	9	6	7	10	6	9
	ぜん息	11	12	10	8	9	15
	アトピー性皮膚炎	2	3	3	2	2	11
全国	結膜炎	323	271	237	278	277	570
	アレルギー性鼻炎	446	512	557	663	658	1666
	ぜん息	1092	888	1045	1177	1117	1796
	アトピー性皮膚炎	384	349	369	456	513	1253

※結膜炎、喘息については、アレルギー性以外も含む

医療施設従事医師数（アレルギー科） ※複数回答

資料：医師・歯科医師・薬剤師調査

人口10万対医師数

	H24	H26	H28	H30	R2	R4
愛媛県	3.6	3.9	3.6	4.1	3.8	4.2
全国	5.4	5.7	5.1	5.2	5.4	5.3

圏域別医師数

	H24	H26	H28	H30	R2	R4
宇摩	1	1	1	2	1	1
新居浜・西条	9	9	7	10	5	3
今治	3	5	7	7	7	8
松山	33	37	31	33	32	38
八幡浜・大洲	4	2	2	1	5	4
宇和島	1	1	1	2	1	1

日本アレルギー学会専門医 (R6.5.2現在)

資料：日本アレルギー学会ホームページ

	内科	小児科	耳鼻咽喉科	皮膚科	眼科	その他	総数
宇摩	0	0	0	0	0	0	0
新居浜・ 西条	1	2	0	0	0	0	3
今治	1	1	0	1	0	0	3
松山	5	12	0	1	0	0	18
八幡浜・ 大洲	2	1	0	0	0	0	3
宇和島	0	0	0	0	0	0	0
愛媛県	9	16	0	2	0	0	27
全国	1951	1954	404	429	22	20	4420

※ホームページに掲載されている医師のみ集計

愛媛県のアレルギー疾患対策事業

1 事業の目的（国のリウマチ・アレルギー特別対策事業）

地域における喘息死を減少させること並びにリウマチ及びアレルギー系疾患の新規患者数を減少させること目的とする。

2 事業の内容

（1）アレルギー疾患医療連絡協議会の開催

アレルギー疾患の診療連携体制の在り方の検討や情報提供、人材育成などの施策を企画立案し、アレルギー疾患対策全般の施策を検討、策定する。

（2）アレルギー疾患医療拠点病院委託事業（R4.4.1～愛媛大学医学部附属病院に委託）

アレルギー疾患を有する者が、居住する地域に関わらず等しくそのアレルギーの状態に応じて適切な医療を受けることができるようにするための体制を整備する。

①人材育成事業

- ・アレルギー疾患患者の支援者を対象に、知識や技能向上に資する研修の企画及び実施

②アレルギー疾患対策を行う関係団体への支援事業

- ・地域の医療機関や教育現場の技術的な支援

③その他、公開講座の開催等のアレルギー疾患に関する普及・啓発事業

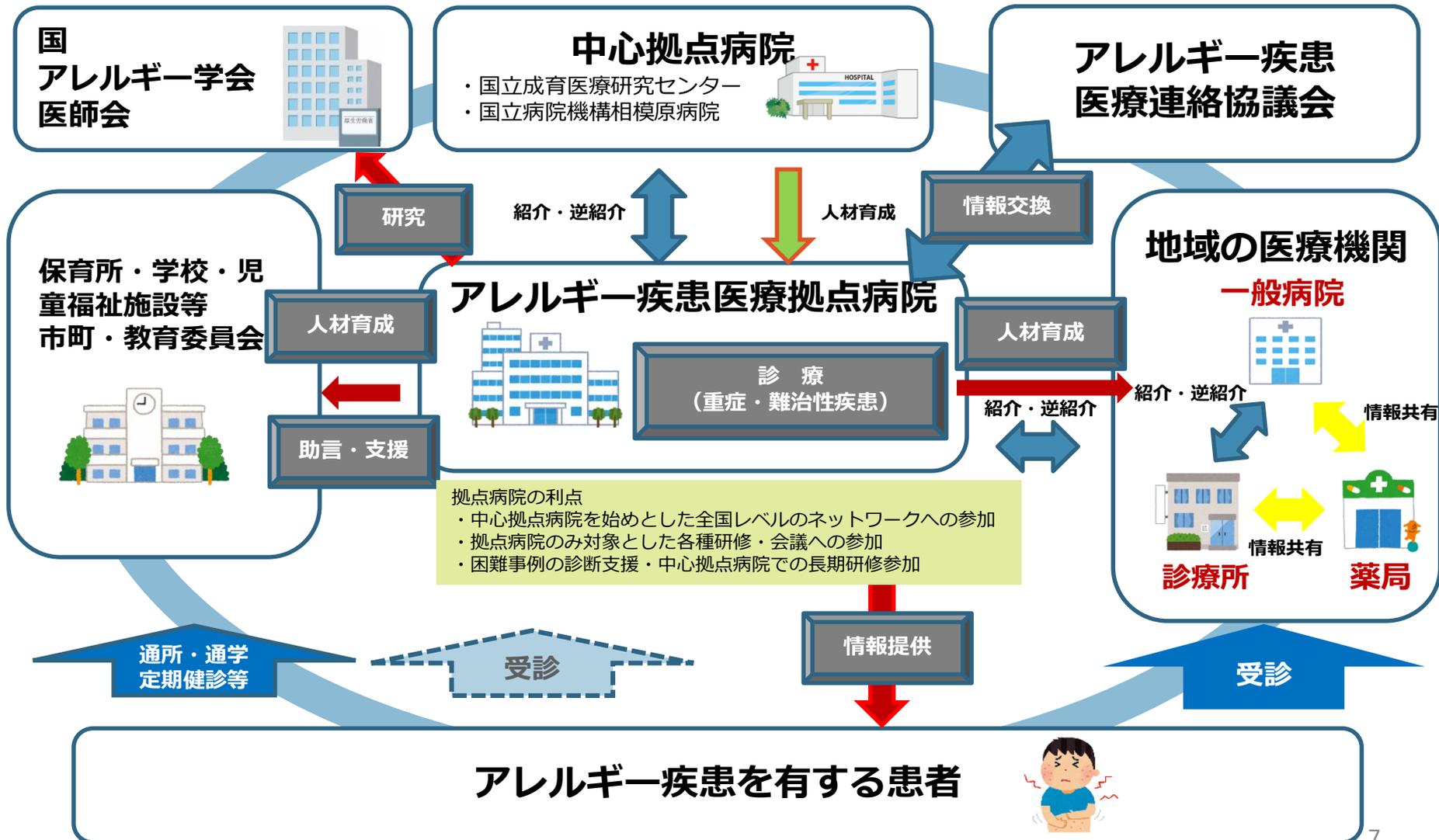
- ・県民公開講座の開催

- ・アレルギー疾患医療拠点病院のホームページにて、情報の発信

（3）アレルギー疾患に関する相談体制整備

アレルギー疾患に関する相談窓口で対応する専門職間での情報交換や研修の機会を確保し、地域における相談体制を整備する。

アレルギー疾患医療提供体制図



愛媛県アレルギー疾患対策事業の取組み

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
アレルギー疾患医療連絡協議会の開催	<p>開催日 令和3年6月28日</p> <p>協議内容 （１）アレルギー疾患対策について （２）アレルギー疾患の医療提供体制について （３）その他</p>	<p>開催日 令和4年6月23日</p> <p>協議内容 （１）愛媛県のアレルギー疾患対策について （２）アレルギー疾患医療拠点病院について （３）乳アレルギー用ミルクの使用量調査について</p> <p>その他 ・教育委員会、栄養士会関係者がオブザーバーとして参加</p>	<p>開催日 令和5年7月6日</p> <p>協議内容 （１）愛媛県のアレルギー疾患対策事業について （２）国のアレルギー疾患対策の現状について （３）災害対策を目的とした乳アレルギー用ミルクのアンケート調査について</p> <p>その他 ・専門医、教育委員会、栄養士会の関係職員3名を新たに委員委嘱</p>
アレルギー疾患医療拠点病院委託事業	<ul style="list-style-type: none"> ・愛媛大学医学部附属病院を愛媛県アレルギー疾患医療拠点病院に指定 	<ul style="list-style-type: none"> ・県民公開講座の実施 テーマ：「専門家に聞こう！全身で起きる“アレルギー”」 日時：令和4年12月11日（日） 場所：いよてつ高島屋9階ロースホール ・愛媛県小児吸入療法研究会での研修会の開催 テーマ：「気管支喘息 Up to Date~」 日時：令和4年9月30日 場所：Web開催 ・アレルギー疾患医療拠点病院ホームページを開設 	<ul style="list-style-type: none"> ・県民公開講座の実施 テーマ：「花粉症について知ろう！」 日時：令和5年12月9日（土） 場所：ホテルマイステイズ3階デュエミーラ ・愛媛県小児吸入療法研究会への支援 令和6年2月24日 実技研修及び認定試験の実施 場所：松山市民病院 ・人材育成事業 他施設の見学視察 ・アレルギー疾患医療拠点病院ホームページの充実
アレルギー疾患に関する相談体制整備	<ul style="list-style-type: none"> ・県のホームページに情報を掲載 ・愛媛県アレルギー疾患医療拠点病院の情報を掲載 ・愛媛県アレルギー疾患医療連絡協議会の情報を掲載 ・各種ガイドライン、マニュアルの掲載 ・化学物質過敏症に関する情報を掲載 ・関連リンクの掲載 	<ul style="list-style-type: none"> ・県行政のアレルギー疾患対策に関する取組みについて関係各課へのヒアリングを実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・アレルギー疾患窓口で対応する専門職を対象とした研修会の開催 ・愛媛県におけるアレルギーに関する取組みについて関係各課に照会を実施

愛媛県庁内におけるアレルギーに関する取組み

令和6年7月8日現在

取組み事項	取組みの実施課	取組みの内容
①普及啓発や予防に関する取組み	健康増進課	・愛媛大学医学部附属病院を愛媛県のアレルギー疾患医療拠点病院業務を委託し、県民公開講座や専門職への研修会等を企画開催
	業務衛生課	・毎年度「愛媛県食品衛生監視指導計画」により、販売施設等において食品表示のアレルゲン表示を確認 ・「食品等取去検査実施要領」により、県内で製造・販売されている食品を取去し、検査を実施
	保健体育課	・毎年、養護教諭や栄養教諭などを対象とした研修会において、指導を行っている。 ・今年度は、公益財団法人日本学校保健会及び愛媛県学校保健会（会長は県医師会長の村上会長）と共催で、「文部科学省補助事業アレルギー講習会」を実施する。
②医療を提供する体制の確保に関する取組み	健康増進課	・アレルギー疾患医療連絡協議会を開催し、現状や課題の把握や診療連携体制の整備等について協議
	県立新居浜病院	・小児アレルギーエドクター（看護師）の配置（1名）
	県立中央病院	・日本アレルギー学会アレルギー専門医教育研修施設での育成（小児科） ・日本アレルギー学会アレルギー専門医教育研修施設での育成（呼吸器内科） ・日本アレルギー学会認定アレルギー専門医が常勤
③調査及び研究に関する取組み	林業政策課	・花粉症対策として、無花粉スギの品種開発、無花粉ヒノキ品種の探索 ・スギ及びヒノキの人工林を伐採して、花粉の少ない苗木による植替え
	環境・ゼロカーボン推進課	・愛媛県内における大気汚染物質の常時監視を行い、結果をホームページで公開
	保健体育課	・毎年、食物アレルギー対応状況調査（除去食対応状況：人数、内容等）を実施している。 ・令和4年度に全国規模でアレルギー調査が実施され、愛媛県小児科医会へ県立学校及び各市町立学校の結果データを提供している。
④その他のアレルギーに関する取組み	道路維持課	・技能労働職（道路整備員）に対し以下の対応を実施 ・毒虫（スズメバチ等）対策として「ボイズンリムーバー（毒液や毒針を吸引作用で抽出する器具）」等の配備について、各所属の労働安全委員会の中で協議の上、個々の事業で必要性が認められるのであれば、所属で対応するよう指導 ・ハチ毒抗体検査について、検査の精度や有効性について産業医等の専門家の意見を聴くとともに、各要望、勤務実態等を踏まえたうえで、県安全衛生委員会等において、必要性を検討するよう指導
	防災危機管理課	・災害に備えたアレルギー対応食品の備蓄
	林業政策課	・林業事業体の現場作業員に対して、蜂アレルギー災害を未然に防止するため、抗体検査に要する経費及び自動注射器の購入に要する経費への助成
	県立新居浜病院	・エピペンを全部署の救急カートに配置。 ・週に2回小児アレルギー外来を実施。
	県立今治病院	・アナフィラキシー時の対応については、放射線部にはマニュアルがあり対応できるようにしている。また日本医療安全調査機構からの医療事故の再発防止に向けた提言「注射剤によるアナフィラキシーに係る死亡事例の分析（2018年1月）」を活用し、院内に注意喚起している。 ・アナフィラキシー時の対応については、日本医療安全調査機構の医療事故の再発防止に向けた提言「注射剤によるアナフィラキシーに係る死亡事例の分析（2018年1月）」を活用し、院内に注意喚起するとともに、どの部位にどの程度のアドレナリンを注射できるかを救急カートに掲示している。【中央病院、今治病院】
	県立中央病院	・全ての病棟に救急カートを設置し、初期対応可能な状況としている。 ・災害に備えたアレルギー対応食品（アルファ化米）の備蓄
	県立病院課	・厚労省等からアレルギーに関する通知が来た場合に、関係機関に周知。（現在のところ、実績無し）

内容

①アレルギー疾患対策事業と医療提供体制

②アンケート調査の結果と今年度の取組み

アンケート調査の概要①

【調査名】

市町保健センターにおける乳幼児・児童のアレルギーに関する保健指導の実情のアンケート調査

【調査目的】

市町保健センターにおける乳幼児・児童のアレルギーに関する保健指導の実情を把握し、
本県のアレルギー疾患対策事業に活かすため

【調査対象】

各市町保健センター

【調査基準日】

令和3年度～現在の状況（過去約2年2か月の状況）

【調査方法】

LoGoフォームによる回答

【回答者】

各市町保健センター母子保健担当者の代表

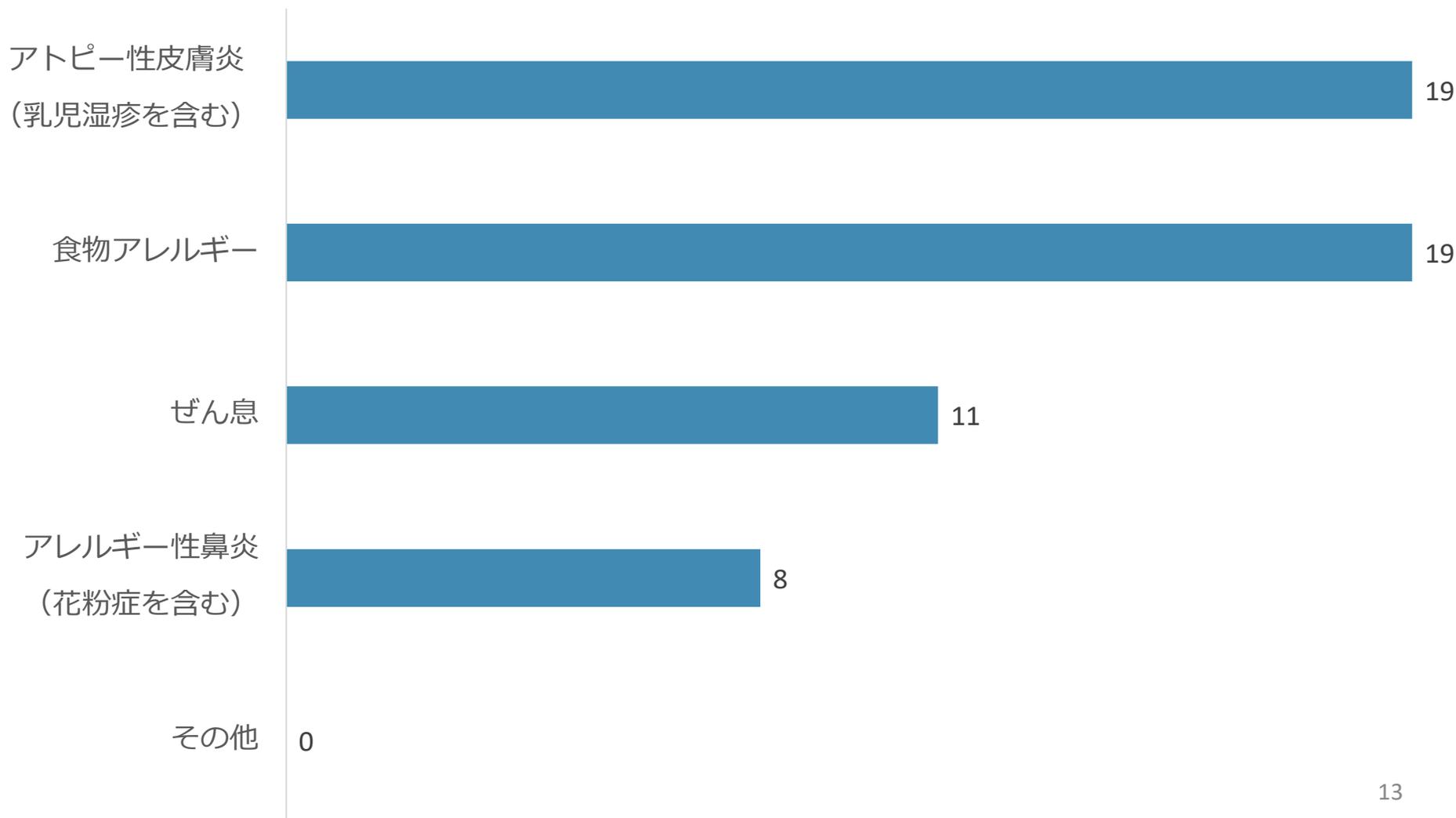
アンケート調査の概要②

【調査内容】

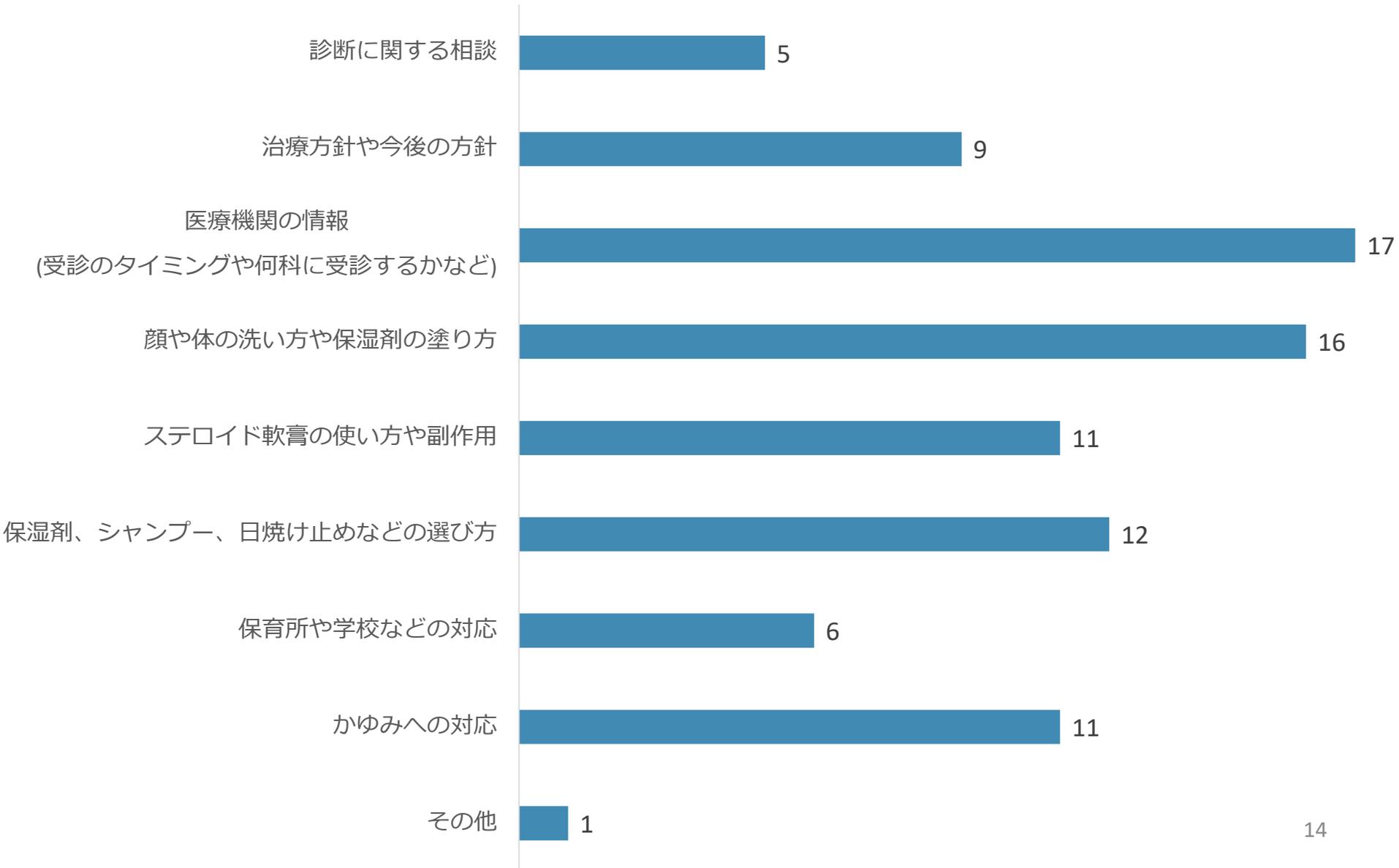
- ・母子保健に関連する業務の中で、保護者から子どものアレルギー疾患に関する相談を受けることがありますか。
- ・保護者から受ける子どものアレルギー疾患の相談はどの疾患に関係していることが多いですか。相談を受けたことがある疾患をすべて選んでください。（複数回答可）
- ・アトピー性皮膚炎（乳児湿疹を含む）に関して、具体的にどのような内容の相談が多いですか。相談を受けたことがある相談内容をすべて選んでください。（複数回答可）
- ・食物アレルギーに関して、具体的にどのような内容の相談が多いですか。相談を受けたことがある相談内容をすべて選んでください。（複数回答可）
- ・ぜん息に関して、具体的にどのような内容の相談が多いですか。相談を受けたことがある相談内容をすべて選んでください。（複数回答可）
- ・母子保健に関する事業の中で、アレルギー疾患に取り組んでいますか。
- ・実際に取り組んでいるアレルギー疾患に関する保健指導はどのようなものですか。（複数回答可）
- ・取り組んでいない理由はどのようなものですか。（複数回答可）
- ・アレルギー疾患の取り組みを充実させるための要望があればチェックしてください。（複数回答可）
- ・乳幼児・児童のアレルギー疾患対策についてご意見があれば自由にご記載ください。

保護者から受ける子どものアレルギー疾患の相談はどの疾患に関係していることが多いですか。（複数回答可）

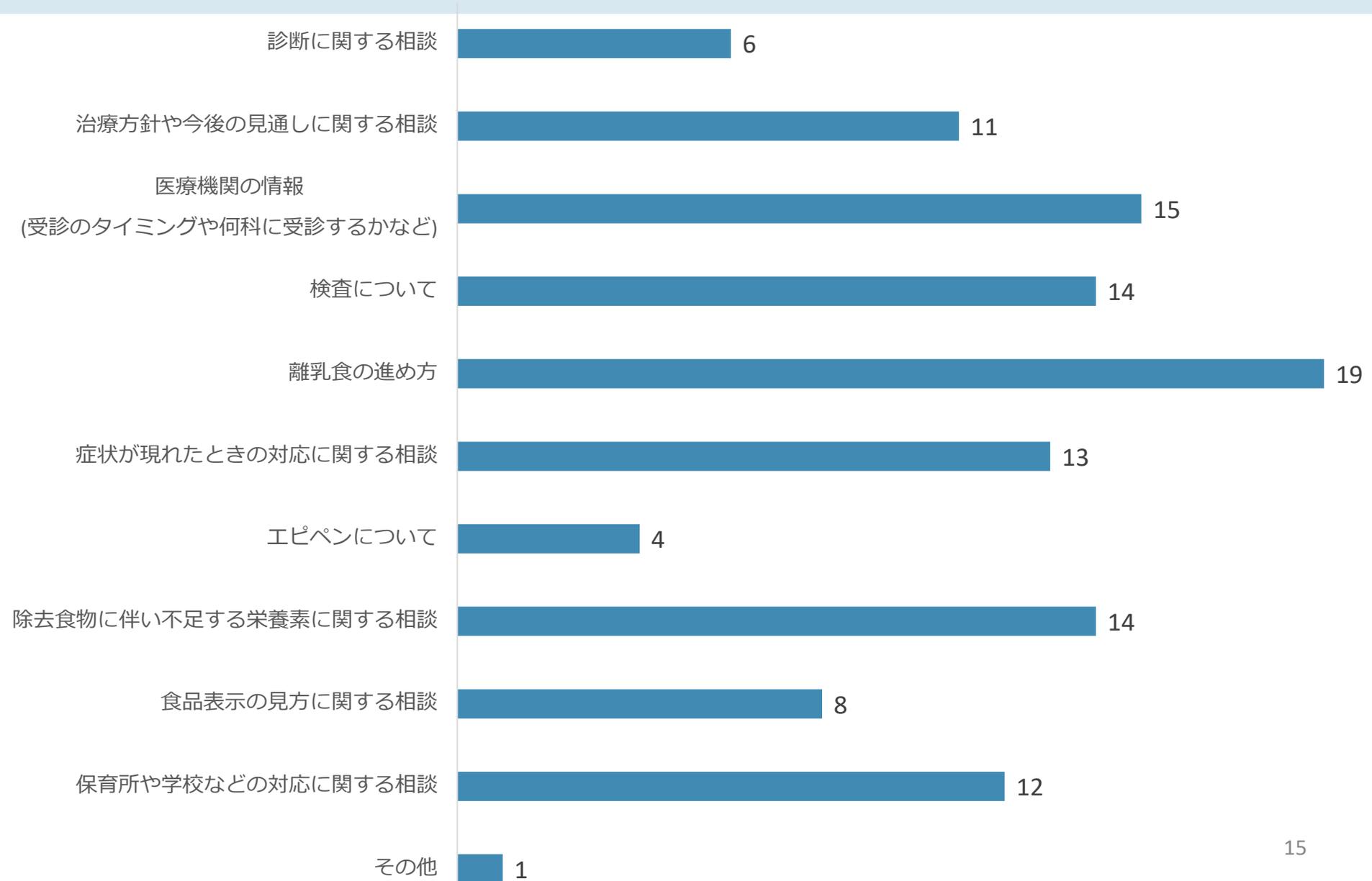
すべての保健センターが、保護者から子どものアレルギー疾患に関する相談は受けることが「ある」と回答



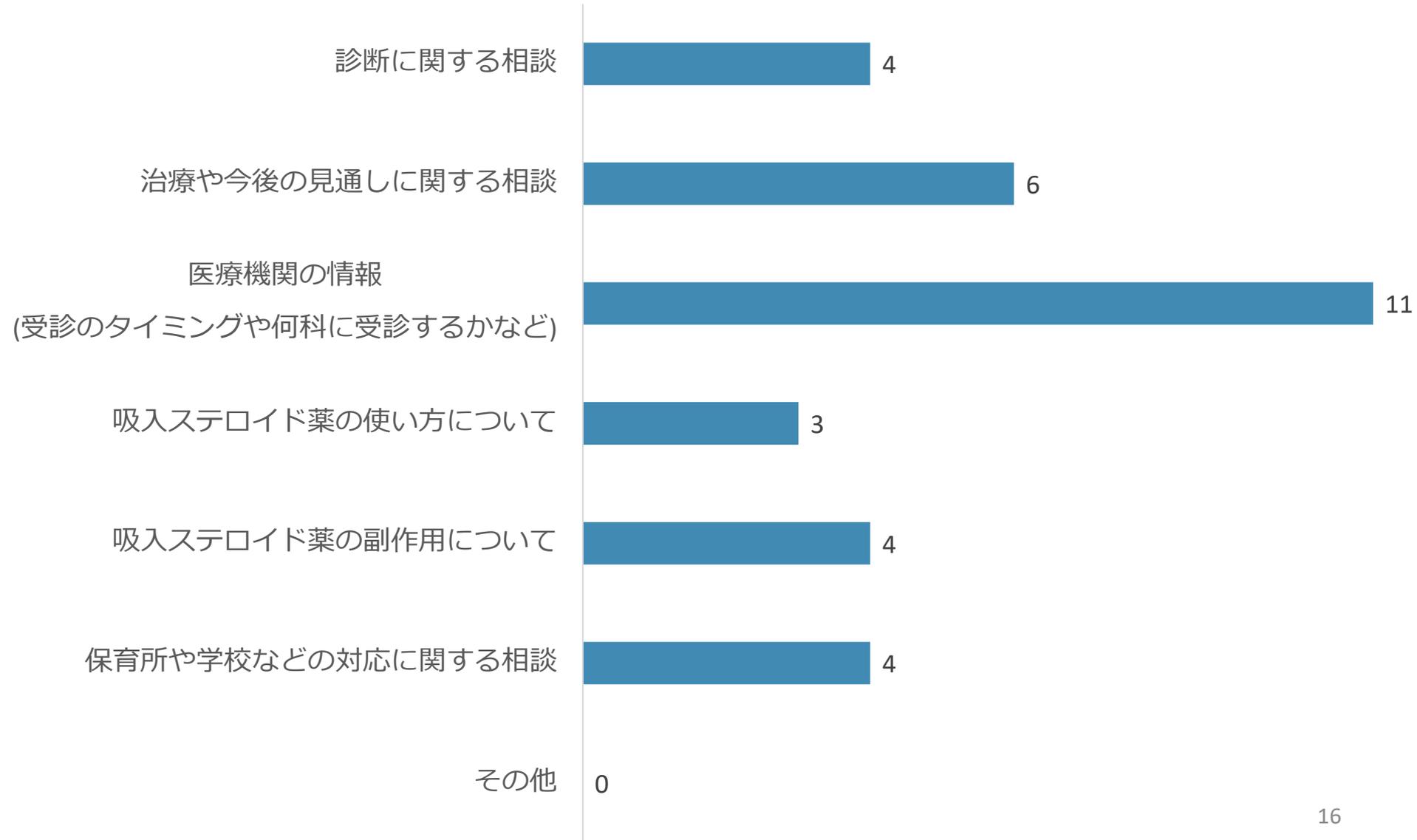
アトピー性皮膚炎（乳児湿疹を含む）に関して、具体的にどのような内容の相談が多いですか。



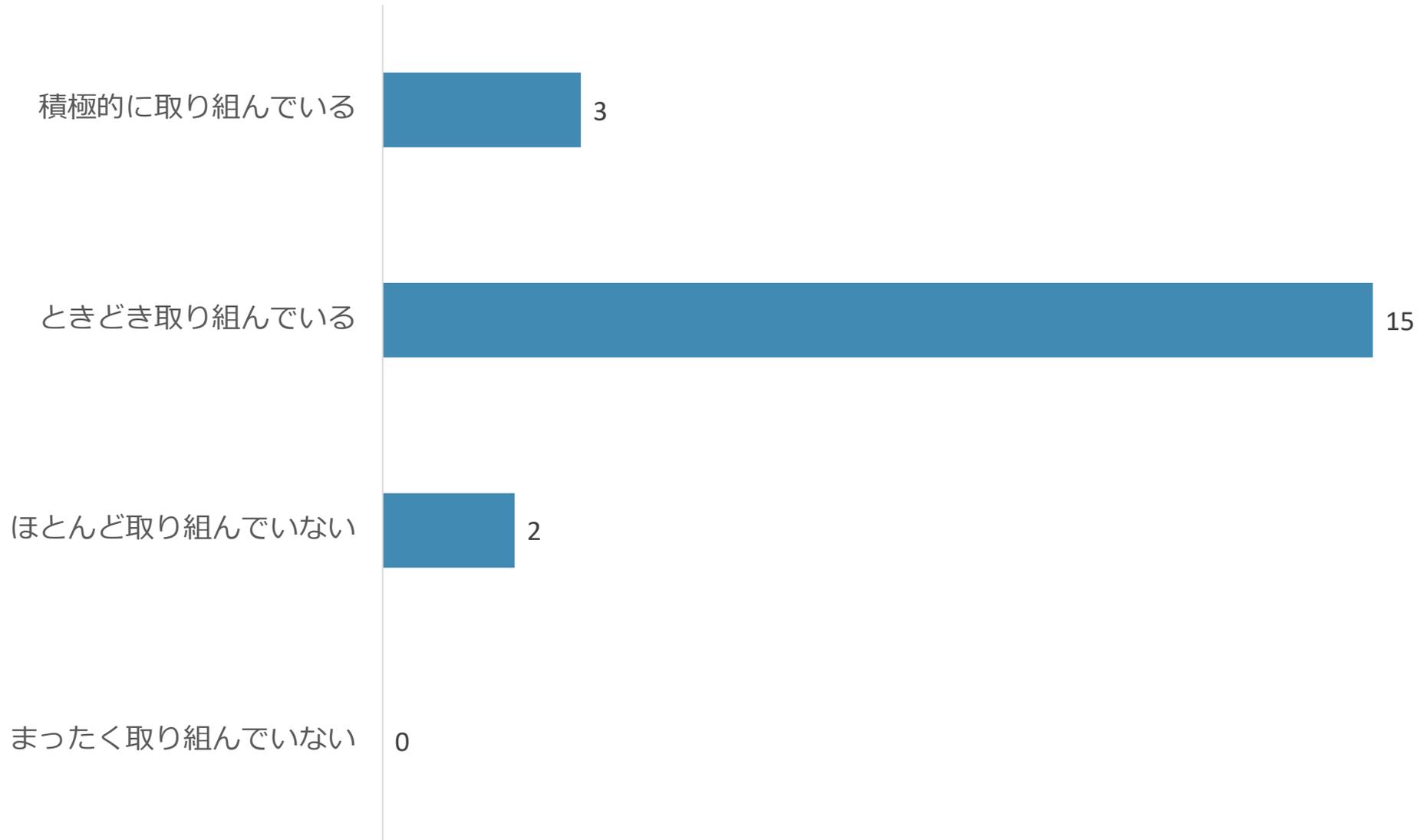
食物アレルギーに関して、具体的にどのような内容の相談が多いですか。（複数回答可）



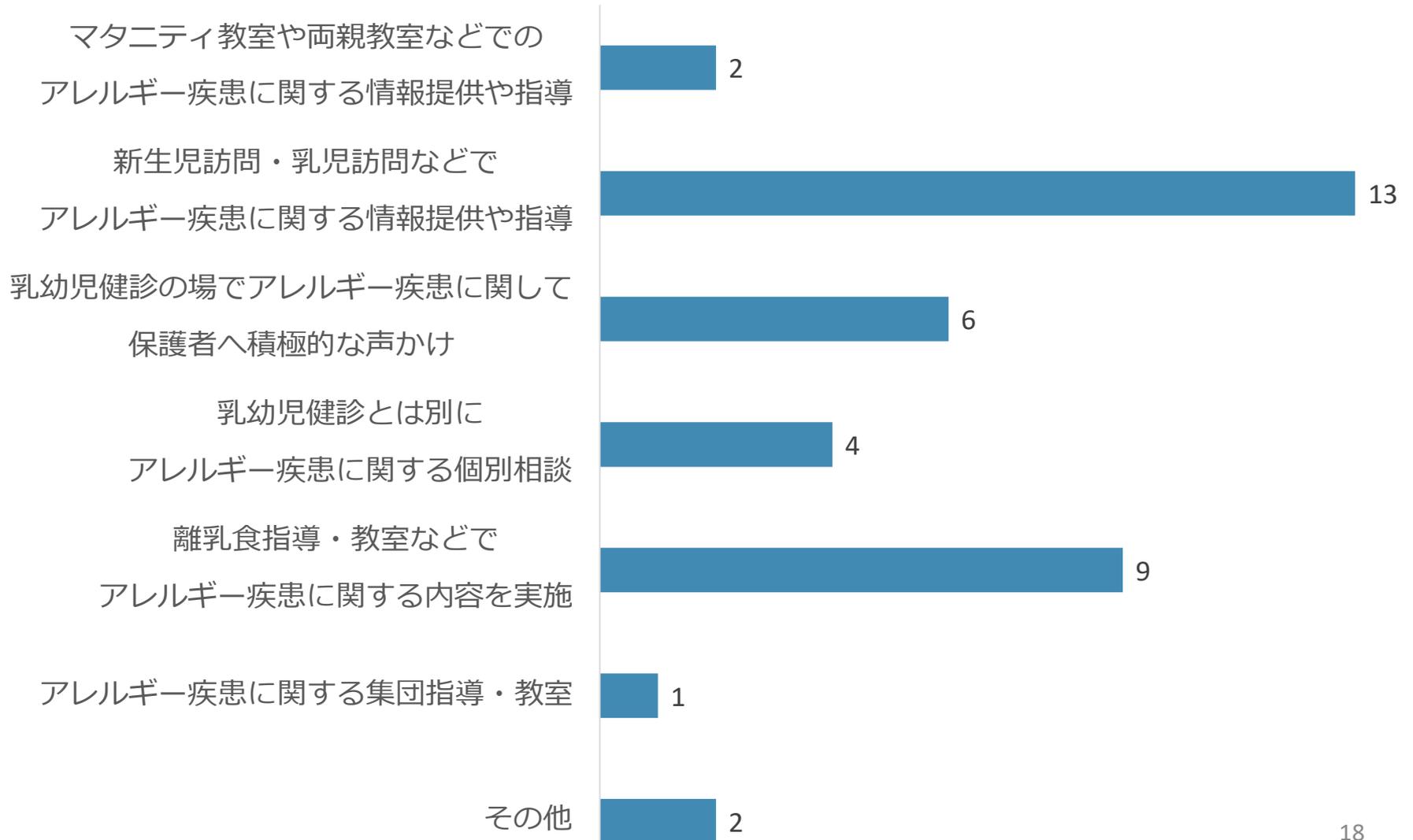
ぜん息に関して、具体的にどのような内容の相談が多いですか。（複数回答可）



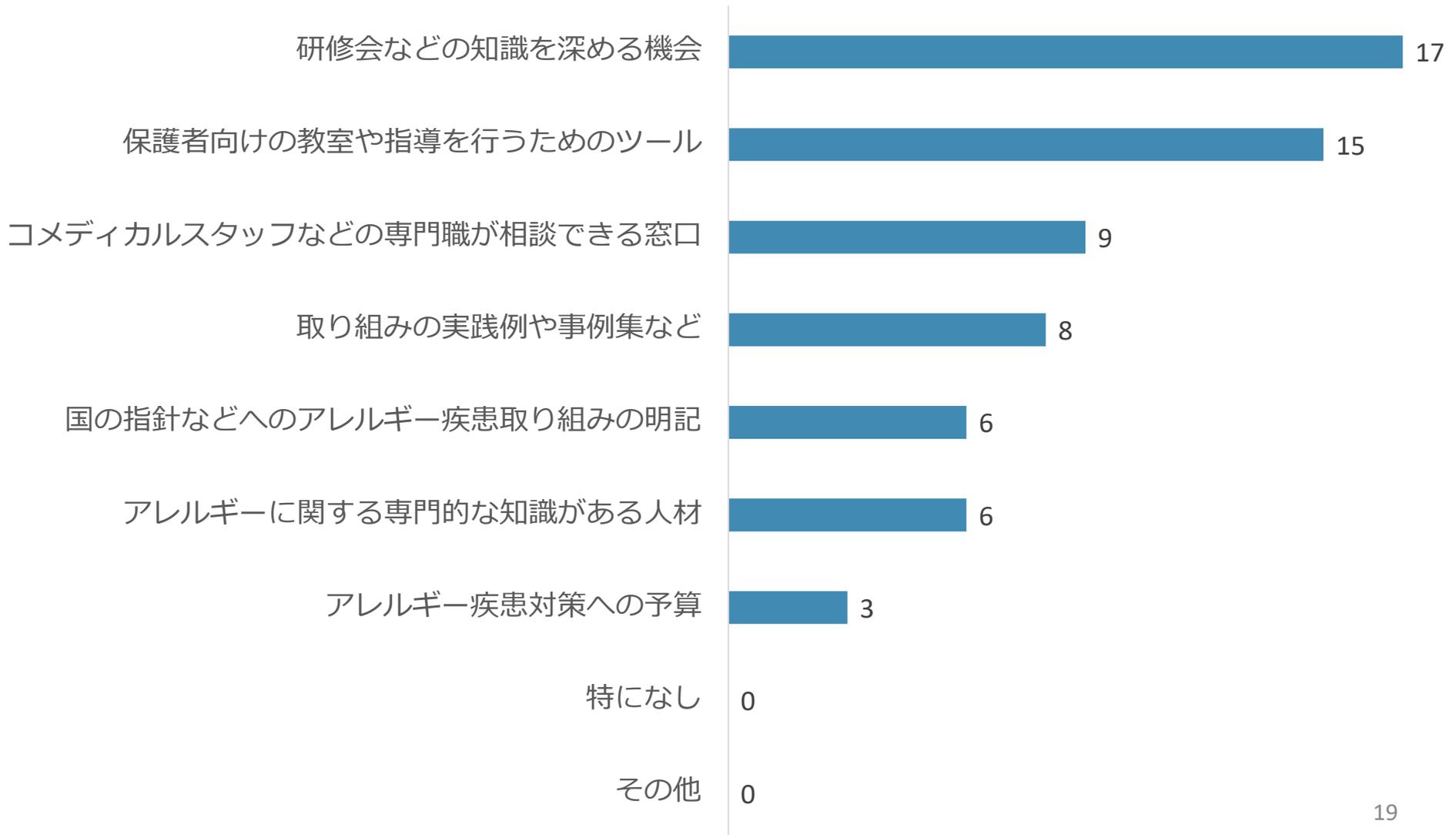
母子保健に関する事業の中で、アレルギー疾患に取り組んでいますか。



実際に取り組んでいるアレルギー疾患に関する保健指導はどのようなものですか。（複数回答可）



アレルギー疾患の取り組みを充実させるための要望があればチェックしてください。（複数回答可）



自由記載（抜粋）

・事例により、個人差もあり治療方針等異なってくることもあり、専門的な知識も必要である中で十分な対応ができないのも現状です。不安を抱える保護者は多いと感じますので、最新情報を含めて専門職も相談できるような場があれば良いと感じます。

・保護者が不安なく離乳食をすすめられるよう支援しています。治療方針や治療内容については、かかっている医療機関の方針とのずれがあってははいけませんので、主治医に相談するようすすめ、診断や治療への助言等は行っておりません。

・他市町で、これら以外の先進的な取組を行っている情報等あれば、教えていただければ幸いです。

愛媛県内のアレルギー専門医リストがあれば、保護者への情報提供に活用できると思います。

アンケートの結果・まとめ

- ・ 疾患別では「食物アレルギー」「アトピー性皮膚炎」に関連した相談が多い
- ・ 相談の内容では「離乳食の進め方」「医療機関の情報」に関する内容が多い
- ・ 研修会の開催を要望する声が多い



市町の保健センターの保健師を対象に、
アレルギー発症予防の正しい保健指導方法の研修会を実施

議事 2 「愛媛県アレルギー疾患医療拠点病院の取組み」

愛媛大学大学院医学系研究科 教授 日浅 陽一

令和5年度 事業報告

1. 県民公開講座の開催 – 花粉症について知ろう！
2. アレルギー疾患医療拠点病院ホームページ – コンテンツの追加
3. 愛媛小児吸入療法研究会への支援
4. 他施設への視察 – 大阪はびきの医療センター

1. 県民公開講座の開催 - 花粉症について知ろう！

令和5年度愛媛県医療拠点病院委託事業 アレルギー疾患に関する県民公開講座

参加費無料
先着80名様

花粉症

について知ろう！

令和5年12月9日(土)
13:00~14:30(12:30開場)
ホテルマイステイズ松山 3F ドウエミラ
(愛媛県松山市大手町1-10-10/伊予鉄道路面電車「西堀端」駅前)

花粉症(特にスギ花粉)は国民の約4割が罹患しており、まさに国民病とも言える病気です。実際、その症状でお悩みの方はとても多く、春の訪れとともに気分が憂鬱になる方もいらっしゃるのではないのでしょうか。今回は花粉症について耳鼻科、眼科、小児科の視点からお話します。各演題は講演20分、質疑応答10分を予定しております。会の途中での入退室も可能です。ぜひお越しください。

13:00~ 耳鼻科 最近の花粉症事情 ~鼻炎症状で悩まないために~
講師：愛媛大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科 助教 青石 邦秀

13:30~ 眼科 「目がかゆい!」花粉症の不快感目の症状とその治療
講師：愛媛大学大学院医学系研究科 地域眼科学講座 講師 坂根 由梨

14:00~ 小児科 子どもの花粉症 知っておきたい!合併症や治療法
講師：愛媛大学医学部附属病院 小児科 助教 西村 幸士

■お申込み・お問い合わせ■
右の二次元バーコードもしくは下記の電話番号にて受け付けております。
電話:089-960-5943(平日 9:00~17:00)
担当:愛媛大学医学部総務課企画・広報チーム
URL:https://forms.office.com/r/b65aCGRVRR



主催:愛媛大学医学部

愛媛大学医学部附属病院 アレルギー疾患医療拠点病院

TOP 病院について 診療科紹介 新着情報 リンク お問い合わせ Q検索

2023.12.26 お知らせ

2023年12月9日(土)に県民公開講座「花粉症について知ろう!」を開催しました

2023年12月9日(土)にホテルマイステイズ松山 3Fドウエミラにて、アレルギー疾患に関する県民公開講座「花粉症について知ろう!」を開催いたしました。今回は「花粉症」をテーマに、耳鼻咽喉科・眼科・小児科の3科が講演を行いました。

本講座は、みなさまが疑問に感じていることに対してなるべく多く、直接お答えできるスタイルにしようとして、講演時間20分、質疑応答10分と一般的な講演会よりも質疑応答の時間を長くとの構成としました。

講演では、それぞれの科で主に扱う疾患や対策、香下免疫療法などについて最新の情報をまじえた内容をお伝えしました。質疑応答では、ご自身やご家族などの身近なお困りごとについてたくさんご質問をいただき、各専門医の観点からの回答に、質問者だけでなく他の参加者の方々も聞きながら聞き入る場面がみられました。

双方向のコミュニケーションを充実させることにより、和やかな雰囲気での進行し、花粉症についてより関心を持って知識を深めていただけたのではないかと思います。

多数の県民のみなさまにご参加いただきましたこと、大変嬉しく思います。誠に有難うございます。

本講座は1年に1回開催予定で、アレルギー疾患に関するさまざまな情報をご提供できればと考えています。来年度以降も身近な疾患をテーマとする予定ですので、今回ご参加いただいた方はもちろんのこと、1人でも多くの方々にご参加いただけますと幸いです。



最新記事

アレルギーに関する情報サイト「...

2023年12月9日(土)に県民公開講...

2023年12月9日(土)に県民公開講...

2023年11月11日(土)に第16回愛媛...

カテゴリ

イベント

お知らせ

過去の記事

+ 2023

前の記事へ

新着情報一覧に戻る

この記事へ

2. アレルギー疾患医療拠点病院ホームページ – コンテンツの追加

愛媛大学医学部附属病院
アレルギー疾患医療拠点病院

TOP 病院について 診療科紹介 新着情報 リンク お問い合わせ 検索

リンク

アレルギー基本情報

- アレルギーについて**
普段から耳にする多くの「アレルギー」という言葉。そもそもアレルギーとは何なのか、そのメカニズムを分かりやすく説明します。
- 災害時の対応**
災害時のアレルギー疾患への対応、避難所での生活上の注意点を紹介します。
- アレルギー疾患対策について**
栄養によるアレルギー疾患対策に関する情報発信ページです。

アレルギー疾患別情報

- 花粉症
- ぜん息
- 食物アレルギー
- アトピー性皮膚炎
- アレルギー性鼻炎
- アレルギー性結膜炎

花粉症でお悩みの方へ

花粉症の特徴や治療、セルフケアについて解説しています。

- ・ [花粉症について | アレルギーポータル](#)
- ・ [皮下免疫療法について | トリーさんのアレルギー免疫療法ナビ](#)

ぜん息について知りたい

ぜん息の特徴や治療、検査について解説しています。

- ・ [小児のぜん息について | アレルギーポータル](#)
- ・ [成人のぜん息について | アレルギーポータル](#)

食物アレルギーでお悩みの方へ

食物アレルギーの特徴や症状について解説しています。

- ・ [食物アレルギーについて | アレルギーポータル](#)
- ・ [食物経口免疫試験 実施施設一覧 | 食物アレルギー研究会](#)

アトピー性皮膚炎について知りたい

アトピー性皮膚炎の特徴や治療法について解説しています。

- ・ [アトピー性皮膚炎について | アレルギーポータル](#)

アレルギー性鼻炎でお悩みの方へ

通年性と季節性の違いなどを解説しています。

- ・ [アレルギー性鼻炎について | アレルギーポータル](#)

アレルギー性結膜炎について知りたい

アレルギー性結膜炎の特徴や症状を解説しています。

- ・ [アレルギー性結膜炎について | アレルギーポータル](#)

TOP / リンク

TOP 病院について 診療科紹介 新着情報 リンク **お問い合わせ**

愛媛大学医学部附属病院 愛媛大学大学院医学系研究科 愛媛大学医学部

(c) 2020 Ehime University Hospital.

3. 愛媛小児吸入療法研究会への支援

愛媛県アレルギー-疾患医療拠点病院(愛媛大学医学部附属病院)受託事業

2023年8月吉日

令和5年度愛媛小児吸入療法研究会

ブラッシュアップWEB研修のご案内

時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

愛媛小児吸入療法研究会では、気管支喘息に対する知識を深め、吸入療法のさらなる向上を目的に、研修会を開催いたします。

ご多用中とは存じますが、ぜひともご参加くださいますよう、ご案内申し上げます。

日時：2023年9月22日（金）19:00～20:30

対象者：薬剤師、看護師、その他のコメディカル

参加申込方法：ZOOM開催形式 **事前登録制**
9月20日（水）までに、microsoftのformsよりお申込みください。

右記QRコードまたは、下記URLよりアクセスし、必要事項をご記入ください。

URL：<https://forms.office.com/r/TwjSkeqBTR>

※お申込みいただいたメールアドレスあてに、
セミナー（Zoom）への招待メールをお送りします。



<プログラム>

開会あいさつ：座長 愛媛大学大学院医学系研究科 小児科学講座
西村 幸士先生

**講演 「アレルギー治療薬 up to date
～気管支喘息を中心に～」**

愛媛大学大学院医学系研究科
地域小児・周産期学講座 助教 **桑原 優** 先生

閉会あいさつ：くす小児科 久寿 正人先生

※ < 問い合わせ先 >

○プログラムや単位認定等について

愛媛県立中央病院薬剤部 原田 嵩大 (mail: n-t-harada@epnh.pref.ehime.jp)

○申し込み方法やZOOMの接続等について

愛媛大学医学部総務課企画・広報チーム 泉 彩 (mail: mekoho@stu.ehime-u.ac.jp)

共催：愛媛県アレルギー-疾患医療拠点病院(愛媛大学医学部附属病院)、松山薬剤師会

※日本薬剤師研修センター生涯研修 1単位（申請予定）

4. 他施設への視察 – 大阪はびきの医療センター

地方独立行政法人大阪府立病院機構
大阪はびきの医療センター

あ 文字サイズ ? よくあるご質問 〻 お問い合わせ 〻 Google 提供

ご来院の皆様へ 診療科・部門 医療関係者の方 当院のご案内 採用情報 アクセス



アトピー・アレルギーセンター

[トップ](#) > [診療科・部門](#) > [アトピー・アレルギーセンター](#)

基本情報 診療内容 医療設備・検査 講習会 その他

センターの概要

小児から成人まで、症状が多様で治療が困難な気管支喘息、アトピー性皮膚炎、食物アレルギー、薬剤アレルギー等のアレルギー性疾患に対し、内科、皮膚科、小児科、眼科、耳鼻咽喉・頭頸部外科等の複数診療科が連携して専門的治療を行っています。

診療科・部門 Department	
診療科	+
センター	+
診療支援部門	+

令和6年度 事業案

1. 県民公開講座の開催
2. ハンズオンセミナーの開催
3. 愛媛小児吸入療法研究会への支援
4. 症例検討会の開催
5. 食物アレルギーをテーマとした専門職向け研修会の開催
6. アレルギーに関する研修会への参加

令和6年度より、リウマチ担当として第一内科と整形外科がアレルギー疾患拠点病院指定関係WGに新たに参画

リウマチ・アレルギー特別対策事業

令和6年度当初予算案 69百万円 (69百万円) ※ ()内は前年度当初予算額

1 事業の目的

- リウマチ・アレルギー特別対策事業については、従前より補助事業として実施してきたが、「アレルギー疾患対策の推進に関する基本的な指針（平成29年3月21日厚生労働省告示第76号、令和4年3月一部改正）」に基づき、国は、アレルギー疾患を有する者が居住する地域に関わらず、適切なアレルギー疾患医療や相談支援を受けられるよう体制を整備する必要がある。

(基本的な指針に係る代表的な該当部分抜粋)

- ・第一 アレルギー疾患対策に関する基本的な事項
 - イ 地方公共団体は、基本的な考え方にとり、アレルギー疾患対策に関し、国との連携を図りつつ、自主的かつ主体的に、その地域の特性に応じた施策を策定及び実施するよう努めなければならない。
- ・第五 その他アレルギー疾患対策の推進に関する重要事項
 - イ 地方公共団体は、都道府県アレルギー疾患医療連絡協議会等を通じて地域の実情を把握し、医療関係者、アレルギー疾患を有する者その他の関係者の意見を参考に、都道府県拠点病院等を中心とした診療連携体制や情報提供等、その地域の特性に応じたアレルギー疾患対策の施策を策定し、及び実施するよう努める。

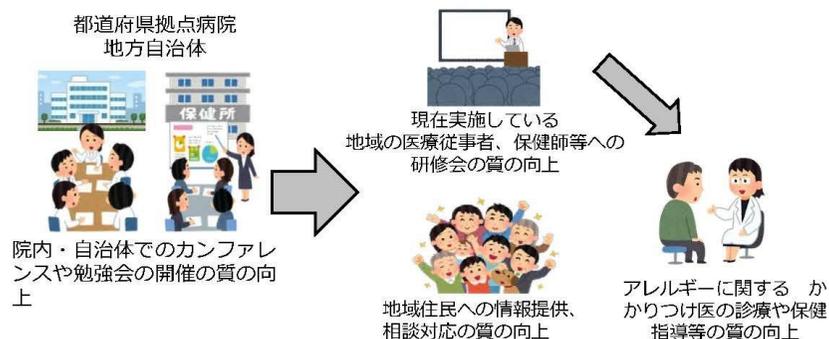
2 事業の概要・実績例

【事業創設年度：平成18年度、補助先：都道府県・政令指定都市・中核市、補助率：1/2】

<事業の概要>

- ①都道府県アレルギー疾患医療連絡協議会等の開催
- ②リウマチ及びアレルギー系疾患の医療提供体制の整備
- ③リウマチ及びアレルギー系疾患に関する正しい知識の普及啓発
- ④リウマチ及びアレルギー系疾患の実態把握
- ⑤リウマチ及びアレルギー系疾患に携わる関係者の人材育成

都道府県拠点病院医師等や自治体保健師等への専門的な知識の習得や資格取得に対する支援



1. 県民公開講座の開催

令和6年度は、令和7年2月1日(土)にいよてつ高島屋9階のローズホールにて開催を予定。

○演題(予定)

「知っておきたいアトピー性皮膚炎の最新治療」 - 皮膚科

「身近に潜む気管支喘息(ぜんそく)

～貴方のその咳、いつから?～」 - 呼吸器内科

「アトピーと食物アレルギーの関係

赤ちゃんからアレルギーを予防するには?」 - 小児科

2. ハンズオンセミナーの開催

愛媛小児アレルギーハンズオンセミナー

「気管支喘息」の診断・評価・吸入指導の実践など
アレルギー専門医が「コツ」を伝授します!!

【対象】 卒後10年目までの医師
【参加人数】 15名まで（先着順）
【参加費】 無料

研修医・専攻医
大歓迎!!

【日時】 2024年**6月2日**（日曜）13時～17時

【場所】 愛媛大学医学部本館 5階 セミナー室
（エレベーター出て右側廊下の階段横）

【主催】 愛媛大学小児科（愛媛県アレルギー疾患医療拠点病院事業）
受講希望者は、右記QRコード もしくは
nishimura.koji.fd@ehime-u.ac.jpまでご連絡ください



3. 愛媛小児吸入療法研究会への支援

引き続き、支援予定。

4. 症例検討会の開催

5. 食物アレルギーをテーマとした専門職向け研修会の開催

6. アレルギーに関する研修会への参加

詳細について、現在検討中。

議事 3 「愛媛県小児科医会の取組み」

くす小児科 院長 久寿 正人

愛媛県の食物アレルギー対策活動の報告

愛媛県医師会/愛媛県小児科医会 アレルギー疾患対策員会

令和6年度事業計画

- 1) 第17回愛媛子どものアレルギーシンポジウム
- 2) 第30回愛媛小児アレルギー懇話会
- 3) 第20回愛媛小児吸入療法研究会
- 4) 愛媛県下で食物アレルギー有病率の調査
- 5) 食物除去連絡票の改定

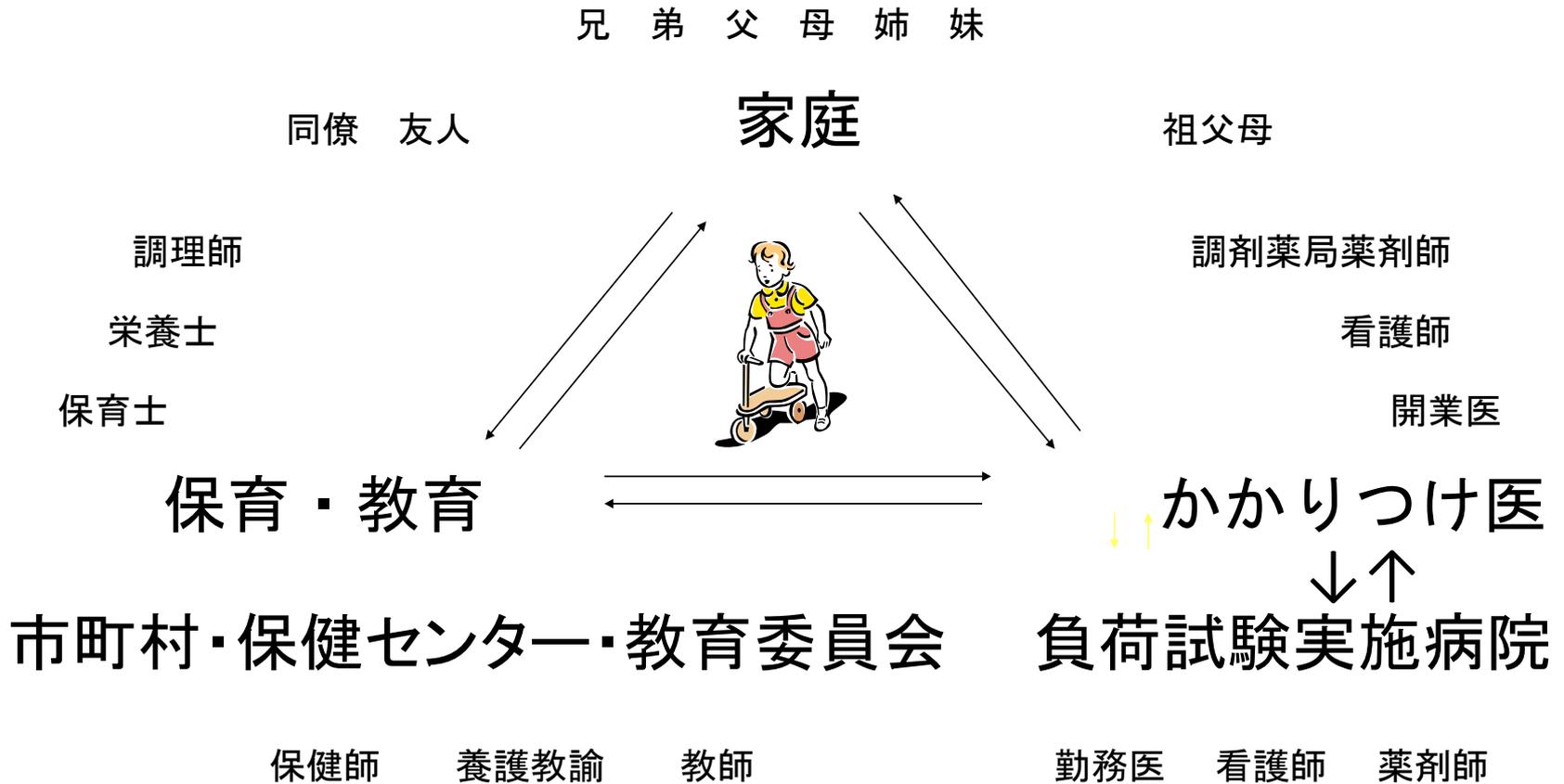
大会宣言(2006年8月)

第1回愛媛こどもの食物アレルギーシンポジウムに参加された全ての
方々の思いを受けて、私達は、食物アレルギーに苦しんでいる子どもたち、
そしてこれから生まれてくる子どもたちに対して、ここに宣言をします。

- 1 食物アレルギーをもった子どもとその家族が生きと生活するために、あらゆる職種が協力し、手をつなぎます。
- 2 子どもの食物アレルギーの予防と治療を行うために、信頼性の高い新しい情報に基づいて継続的に研修を行い、協力体制を充実していきます。
- 3 愛媛において、日本一進んだ食物アレルギーのチーム医療体制を築くことを目指します。

除去食連絡票・講演会(シンポジウム)・除去食献立講習会

愛媛県医師会・愛媛県小児科医会・地区医師会



第10回愛媛こどもの食物アレルギーシンポジウムプログラム

- 1)開会あいさつ: 愛媛県医師会副会長 友松 孝
- 2)食物アレルギーについて(基礎知識・負荷試験・除去食連絡票):
愛媛大学医学部地域救急医療学講座
市立八幡浜総合病院地域サテライトセンター 小児科 楠目 和代
- 3)保育所における食物アレルギーをもつ園児への対応: 八幡浜市立白浜保育所 主任保育士
- 4)学校給食における食物アレルギーの対応について: 八幡浜市学校給食センター 栄養士
- 5)患者・保護者の立場から: ○○町立○○小学校 2年生 母
- ===== 休憩:15分 =====
- 6)アナフィラキシー対応とエピペンシミュレーション 愛媛県立今治病院小児科 村上至孝
(寸劇)小児科若手医師有志
- 7)総合討論・質疑応答
- 8)閉会あいさつ: 愛媛県小児科医会会長 中 眞一
- 司会進行: ごとう小児科 後藤 悟志
おおむら小児科 大村 勉

第17回愛媛こどもの食物アレルギーシンポジウム

○開催日時：令和6年8月4日（日）13：30～16：00（開場13：00）

○開催場所：愛媛県医師会館 5F ホール

○参加費：無料

○参加対象：こどもの食物アレルギーに関心のあるすべての方
無料託児有（事前申込必要）

アレルギー除去食に関する連絡書(主治医意見書) - 愛媛版 2016

患者名: ○○ ○○さん

令和6年1月29日記入

除去食品指導表

名 前 ○○ ○○さん () 令和○年 ○月○日生

診断名 1 食物アレルギー 2 3

本児は診察、検査の結果、以下の食物について除去が必要と考えられます。

1. 除去が必要な食品名、および調理と食事の際の注意点は以下の通りです。

- 鶏卵 牛乳 小麦 大豆 ピーナッツ ナッツ類 ゴマ
- 甲殻類・軟体類 魚 肉 果物 魚卵 山芋 ソバ

*詳細は2頁目の除去食物指導表を参照してください。

微量のアレルゲン混入を防ぐため専用の調理器具の使用が 必要 一般的対応で可
誤食を防ぐため充分な観察と注意の中で食べさせることが 必要 一般的対応で可
定期的内服薬の有無 有 無

2. 食物アレルギーと診断した方法は次の通りです。

- 問診・視診、 食物日誌、 食物除去・負荷試験の反応、 皮膚テスト、
 血液検査 (IgE, RAST, HRT 等)、 その他:

3. 摂取した場合に出現する可能性のある症状は次の通りです。

食品名	1	2	3	4	5	6	7	8	
<input type="checkbox"/> 鶏卵	<input type="checkbox"/> 未摂取 <input type="checkbox"/> その他()								
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 未摂取 <input type="checkbox"/> その他()
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 未摂取 <input type="checkbox"/> その他()
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 未摂取 <input type="checkbox"/> その他()
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 未摂取 <input type="checkbox"/> その他()

出現しうる症状 1 ショック 2 咳き込み・呼吸困難 3 嘔吐・腹痛 4 全身蕁麻疹

5 赤み・かゆみ 6 下痢 7 口腔内症状 8 湿疹の悪化

4. 原因食品摂取時は、保護者に至急連絡し指示を受けて下さい。

- 緊急の場合には以下の対応が必要です 緊急の対応が必要となる可能性は少ない
- 内服薬 (
- 医療機関連絡・受診: 当院 救急病院 その他 ()
- 自己注射 (エピペン 0.15mg・0.3mg

*緊急の事態に保護者に連絡がとれない場合、園・学校から主治医に連絡し指示を受けることに保護者が同意を している していない 不明

5. 本連絡書(意見書)の内容については、下記の期間をおいて再評価が必要です。

- 1ヶ月後 3ヶ月後 6ヶ月後 1年後 ()年後

6. その他の連絡事項

令和6年1月29日

任 所 松山市西長戸町 274-2

医療機関 医療法人 ぐす小児科

電話番号 089-911-0550

医 師 久 寿 正 人 印

-1-

食物アレルギーのため除去が必要な食品は、 にチェックを入れます。

鶏卵アレルギー	牛乳アレルギー
<input type="checkbox"/> 生卵・生ムネグを使ったお菓子 生卵入りの生クリーム・アイスクリームなど	<input type="checkbox"/> 牛乳・粉ミルク・フルーツ牛乳 <input type="checkbox"/> 生の牛乳を用いた食品 アイスクリーム・生クリーム
<input type="checkbox"/> 半熟卵を含む料理や菓子 親子どんぶり・かき玉汁・卵とじ カスタードクリーム・マヨネーズなど	<input type="checkbox"/> チーズ <input type="checkbox"/> 加熱牛乳、ヨーグルト <input type="checkbox"/> 牛乳を加熱して使った料理 プリン、ホワイトソース
<input type="checkbox"/> 加熱卵白を相当量含む料理や菓子 卵焼き・茶碗蒸し・ゆで卵・薄焼き卵 プリン・カステラ・ケーキ・菓子パンなど	<input type="checkbox"/> 乳酸菌飲料 <input type="checkbox"/> 牛乳を含むパン・焼き菓子
<input type="checkbox"/> 加熱卵白を中等量含む菓子 ドーナツ・卵ボーロ・クッキー・ビスケット	<input type="checkbox"/> バターのみを含むパン・焼き菓子 <input type="checkbox"/> バター、マーガリンを使った料理
<input type="checkbox"/> つなぎに卵白を少量含む製品 練り製品・ハム・ソーセージ・ベーコン	※ 分かっている場合、 牛乳換算(m)まで
<input type="checkbox"/> 加熱した卵を微量含む 食パン・天ぷら粉・種類など	※ アレルギー用紙を使用している場合 ミルク名()
<input type="checkbox"/> 固ゆで卵の卵黄	
小麦アレルギー	大豆アレルギー
<input type="checkbox"/> 小麦粉を主体とした製品 うどん、スパゲッティ、パスタ類 麺(ふ)、パン類	<input type="checkbox"/> 豆乳 <input type="checkbox"/> 大豆 <input type="checkbox"/> きなこ <input type="checkbox"/> 枝豆 <input type="checkbox"/> おから
<input type="checkbox"/> カレー・シチューなどのルー	<input type="checkbox"/> 納豆 <input type="checkbox"/> 豆腐
<input type="checkbox"/> 肉・練り製品のつなぎ	<input type="checkbox"/> 大豆もやし
<input type="checkbox"/> オートミール・麦茶	<input type="checkbox"/> 大豆入り味噌や醤油
<input type="checkbox"/> 小麦入り醤油、味噌など	<input type="checkbox"/> 大豆油を使った料理や菓子

- ピーナッツ ナッツ全般 (アーモンド クルミ カシューナッツ)
- 甲殻類・軟体類 全般 エビ カニ イカ タコ 貝類
- 魚 全般 右の魚のみ不可
- 肉類 鶏肉 牛肉 豚肉
- 果物 キウイ バナナ リンゴ モモ
- 魚卵 全般 (イクラ)
- その他 山芋 ソバ ゴマ

愛媛県医師会・愛媛県小児科医会作成 2016

-2-

学校生活管理指導表(アレルギー疾患用)

園・学校 年 組 氏名 男・女 平成 年 月 日生 歳

緊急時 連絡先	保護者氏名: (〒 -) ⑥	医療機関名:
	住所:	連絡先:(TEL)
	連絡先:(TEL)	

主治医様

アレルギー疾患のある児童生徒に対して、学校生活での適切な管理や配慮を実施するためには、医師の指導が必要です。保護者の皆様からの求めに応じ、「学校生活指導表(アレルギー疾患用)」A~の記載をお願いいたします。

医療機関 記載日	年 月 日	医療機関名	医師名	⑥	本指示書の内容については、 (3・6・12)か月後に 再評価が必要です。
-------------	-------	-------	-----	---	--------------------------------------------

病型・治療

<p>A.食物アレルギー病型(食物アレルギーありの場合のみ記載)</p> <p><input type="checkbox"/>即時型 <input type="checkbox"/>口腔アレルギー症候群 <input type="checkbox"/>食物依存性運動誘発アナフィラキシー</p> <p>※アナフィラキシーの既往ありの場合のみ記載して下さい。 ・原因食物() ・発症の既往歴(有・無) 年齢() ・発症の症状 ()</p> <p>B.該当するアレルギー症状に☑をしてください。</p> <p><input type="checkbox"/>皮膚・粘膜症状(口じんましん □かゆみ □目の充血 □顔面紅潮) <input type="checkbox"/>呼吸器症状(□せき □ゼーゼー □ヒューヒュー □呼吸困難) <input type="checkbox"/>消化器症状(□吐き気 □嘔吐 □腹痛 □下痢) <input type="checkbox"/>アナフィラキシー(□血圧低下 □頻脈 □意識障害 □消失) その他()</p>	<p>C.緊急時に備えた処方箋</p> <p>1.内服薬(抗ヒスタミン薬、ステロイド薬) 2.アドレナリン自己注射薬(「エビペン」) 3.その他</p> <p>4.緊急時の対処方法</p>
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

D.原因食物・診断根拠
 該当する食品の番号に○をし、()内に診断根拠をすべて記載し、除去の程度を□にレを記入して下さい。

<p>【診断根拠】・・・①明らかな症状の既往 ②食物負荷試験陽性 ③IgE抗体等検査結果陽性</p>	
<p>1.鶏卵 () □完全除去 □少量なら可 □加熱すれば可 <input type="checkbox"/>生卵を含むもの(マヨネーズ等) <input type="checkbox"/>卵料理(スクランブルエッグ等50g(約1個程度) <input type="checkbox"/>卵料理(いり豆腐、かき玉汁等20~30g(約1/2個程度) <input type="checkbox"/>加工品に含まれる卵(ハンバーグ等微量~5g程度) <input type="checkbox"/>加熱した卵白を少量含む(練り製品、ハム等) <input type="checkbox"/>加熱した全卵を少量含む(天ぷら粉、パン等) <input type="checkbox"/>鶏肉製品(鶏肉、チキンコンソメ等)</p> <p>2.牛乳・乳製品 () □完全除去 □少量なら可 □加熱すれば可 <input type="checkbox"/>飲用牛乳 <input type="checkbox"/>牛乳料理(プリン、ホワイトルー等50g程度) <input type="checkbox"/>発酵乳(ヨーグルト、乳酸菌飲料) <input type="checkbox"/>乳酪製品(バター、チーズ、マーガリン等) <input type="checkbox"/>乳製品(料理に使用の少量のチーズ、生クリーム等5g程度) <input type="checkbox"/>乳製品を含む加工品(パン、ハンバーグ等微量~2g程度) <input type="checkbox"/>カゼインNaを含む加工品(ベーコン、ハム、ソーセージ等)</p> <p>3.小麦 () □完全除去 □少量なら可 □加熱すれば可 <input type="checkbox"/>強力粉を使った製品(うどん、パスタ、麺、パン等) <input type="checkbox"/>薄力粉を使った製品(ホワイトルー等ルー、練り製品つなぎ等) <input type="checkbox"/>調味料(味噌・醤油等)</p> <p>4.大豆製品 () □完全除去 □少量なら可 □加熱すれば可 <input type="checkbox"/>大豆油、大豆油を使った製品 <input type="checkbox"/>大豆、枝豆、おから、きなこ等 <input type="checkbox"/>豆腐、豆乳等(20~30g程度) <input type="checkbox"/>調味料(味噌・醤油等)</p>	<p>5.魚介類 () □完全除去 □少量なら可 □加熱すれば可 <input type="checkbox"/>だしに使用(煮干、鰹節等、微量~3g程度)</p> <p>6.種実・木の实類 () □完全除去 □少量なら可 □加熱すれば可 <input type="checkbox"/>原因食材名() <input type="checkbox"/>調味料等に使用(微量~3g程度)</p> <p>7.果物 () □完全除去 □少量なら可 □加熱すれば可 <input type="checkbox"/>原因食材名()</p> <p>8.甲殻類 () □完全除去 □少量なら可 □加熱すれば可 <input type="checkbox"/>原因食材名()</p> <p>9.肉類 () □完全除去 □少量なら可 □加熱すれば可 <input type="checkbox"/>原因食材名()</p> <p>10.そば () □完全除去 □少量なら可 □加熱すれば可 <input type="checkbox"/>原因食材名()</p> <p>11.ピーナツ () □完全除去 □少量なら可 □加熱すれば可 <input type="checkbox"/>原因食材名()</p> <p>12.その他 () □完全除去 □少量なら可 □加熱すれば可 <input type="checkbox"/>原因食材名()</p>

学校生活上の留意点

<p>E.給食</p> <p>1.管理不要 2.保護者と相談し決定</p> <p>()</p>	<p>G.運動(体育・部活動等)</p> <p>1.管理不要 2.保護者と相談し決定 3.強い運動は不可</p> <p>()</p>	<p>1.その他の配慮・管理事項(自由記述)</p>
<p>F.食物・食材を扱う授業・活動</p> <p>1.配慮不要 2.保護者と相談し決定</p> <p>()</p>	<p>H.宿泊を伴う校外活動</p> <p>1.配慮不要 2.食事やイベントの際に配慮が必要</p> <p>()</p>	

食物アレルギー(あり・なし)

表 学校生活管理指導表（アレルギー疾患用）

名前 _____ (男・女) _____ 年 ____ 月 ____ 日生 _____ 年 ____ 組

提出日 _____ 年 ____ 月 ____ 日

※この生活管理指導表は、学校の生活において特別な配慮や管理が必要となった場合に医師が作成するものです。

病型・治療		学校生活上の留意点		★保護者 電話： ★連絡医療機関 医療機関名： 電話：
アナフィラキシー (あり・なし) 食物アレルギー (あり・なし)	A 食物アレルギー病型（食物アレルギーありの場合のみ記載） 1. 即時型 2. 口腔アレルギー症候群 3. 食物依存性運動誘発アナフィラキシー	A 給食 1. 管理不要 2. 管理必要 B 食物・食材を扱う授業・活動 1. 管理不要 2. 管理必要	【緊急時連絡先】 記載日 _____ 年 月 日 医師名 _____ 医療機関名 _____	
	B アナフィラキシー病型（アナフィラキシーの既往ありの場合のみ記載） 1. 食物（原因） 2. 食物依存性運動誘発アナフィラキシー 3. 運動誘発アナフィラキシー 4. 昆虫（ ） 5. 医薬品（ ） 6. その他（ ）	C 運動（体育・部活動等） 1. 管理不要 2. 管理必要 D 宿泊を伴う校外活動 1. 管理不要 2. 管理必要		
	C 原因食物・除去根拠 該当する食品の番号に○をし、かつ（ ）内に除去根拠を記載 1. 鶏卵 () 2. 牛乳・乳製品 () 3. 小麦 () 4. ソバ () 5. ピーナッツ () 6. 甲殻類 () (すべて・エビ・カニ) 7. 木の实類 () (すべて・クルミ・カシュー・アーモンド) 8. 果物類 () 9. 魚類 () 10. 肉類 () 11. その他1 () 12. その他2 ()	E 原因食物を除去する場合により厳しい除去が必要なもの ※本欄に○がついた場合、該当する食品を使用した料理については、給食対応が困難となる場合があります。 鶏卵：卵殻カルシウム 牛乳：乳糖・乳清焼成カルシウム 小麦：醤油・酢・味噌 大豆：大豆油・醤油・味噌 ゴマ：ゴマ油 魚類：かつおだし・いりこだし・魚醤 肉類：エキス		
	D 緊急時に備えた処方薬 1. 内服薬（抗ヒスタミン薬、ステロイド薬） 2. アドレナリン自己注射薬（「エピペン®」） 3. その他（ ）	F その他の配慮・管理事項(自由記述)		

愛媛県小児科医会公式ホームページ



育児に役立つ
ちょっといい話
childcare

週間疾患情報
毎週更新中
epidemics

最新トピックス
& イベント情報
events&topics

愛媛新聞への
執筆原稿集
writings

食物アレルギー
対策委員会
allergy

予防接種に関する
情報BOX
vaccine

子育て支援
小冊子集
booklet

子どもとタバコ
tobacco

愛媛の
元気な小児科医
pediatricians

LAST UPDATE 2014.10.17



イベント速報
11月3日(祝)
13:30~16:00
(開場12:30)
愛媛県医師会館
参加費：無料
良い子を産み育てる妊婦の日

[click](#)

now update
monthly schedule

10	OCTOBER					
SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
			01	02	03	04
05	06	07	08	09	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

会員専用PAGE
PASSWORD
[]
ENTER
last update
H26.10.17.

カレンダーの日付の上のボタン
(●)をクリックしてアクセス下さい。
【毎週月～水曜】週間疾患情報
【毎週水曜日】インフルエンザ情報
※青字は会員専用の情報です。
10.17. "受けよう！予防接種"
が改訂版に変わります
10.07. 日本小児科医会「地域
総合小児医療認定医」条件の
件
10.02. 厚生労働大臣、日医会
長あて水痘ワクチンに関する要
請書の件

4/5 3 next
禁煙活動に取り組みでいる製薬会社ノバルティス・
ファーマ社がすばらしいHPを作ってくれました。
子ども向けの啓発サイトです。
一度ご覧になってください。
NOVARTIS
[click](#)

愛媛県小児科医会
について
about us

休日・夜間の
救急医療体制
emergency

はじめに読んでお
いて下さいね
read me first

携帯からも簡単アクセス・・・
週間疾患情報を素早くチェック



子どもの食物アレルギー
(2014)

—食物アレルギーの理解と対処の仕方—



愛媛県食物アレルギー対策委員会 編集

食物アレルギーシンポジウムに
毎年作成している

**食物アレルギー資料集
除去食連絡票
緊急時対応マニュアル
の3点セット**

年 組 氏名： _____

食べてしまった時刻： _____ 時 _____ 分頃
 症状が出始めた時刻： _____ 時 _____ 分頃
 重症症状が出た時刻： _____ 時 _____ 分頃

循環器
症状
神経症状
呼吸器
の症状
消化器
の症状
顔面(目・
唇)の症
状
皮膚
の症状

脈が触れにくい。脈が跳ぶ。
脈が非常に遅い。心停止
唇・爪が青くなる。
ぐったり。暴れる。意識がない
尿・便をもらす

のどや胸が締め付けられる
声が出にくい
犬がほえるような咳
息がしにくい・息が止まる
持続する強い咳き込み
ヒーヒー・ゼーゼーする呼吸

強くて我慢できない腹痛
 (背筋を伸ばさず丸くなる)
繰り返し激しく吐く

脈が速くなる。
顔が白っぽい
眠気が出る
軽い頭痛
怖がる

30秒に1回くらい
繰り返す咳
ごく軽いゼーゼー
軽い息苦しさ

強いが我慢できる腹痛
 (顔がゆがむ)
2回以上の嘔吐
2回以上の下痢

顔全体が腫れる

強い全身のかゆみ
全身のじんま疹
全身が真っ赤になる

おとなしい。
少し元気がない。

くしゃみ・鼻水
軽い咳

くちがかゆい。おかしい。
軽い腹痛
吐き気がする
1回の嘔吐・下痢

目のかゆみ
目・口の周りが赤い
目・唇が腫れる

我慢できる軽いかゆみ
数個のじんま疹
部分的な赤み

上記の症状がひとつでも
あてはまる場合
レベル3
重症
(危険)

ひとつでもあてはまる
レベル2
中等症

ひとつでもあてはまる
レベル1
軽症

1. その場で仰臥位下肢挙上
仰向けに寝かせ、
足を30cm高く
2. 救急車を呼ぶ
3. エピペン使用
4. 心肺停止⇒AED

P.4

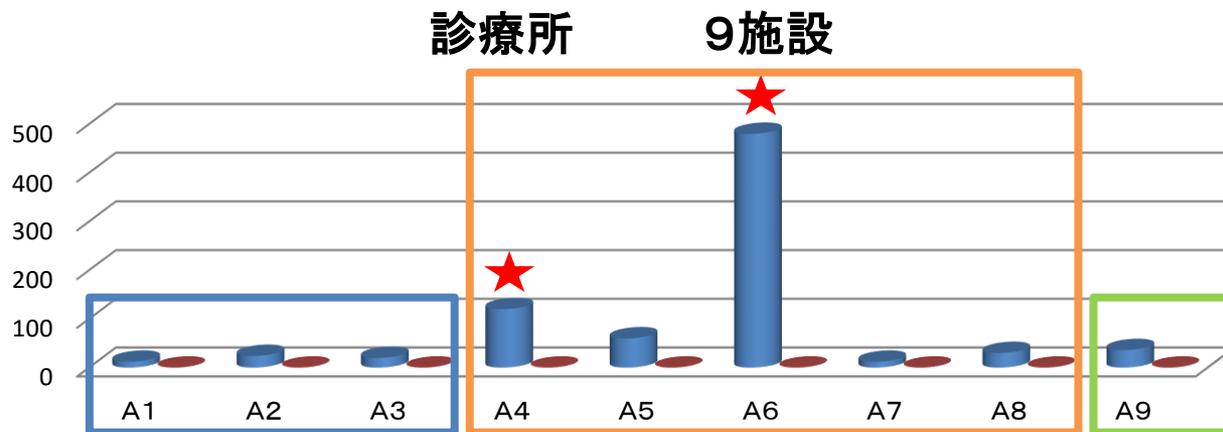
保健室に運ぶ
(歩かせない)
飲み薬・吸入薬使用
エピペン準備
医療機関へ連絡
(救急車考慮)

保健室で経過観察
飲み薬(頓服)使用
保護者に連絡

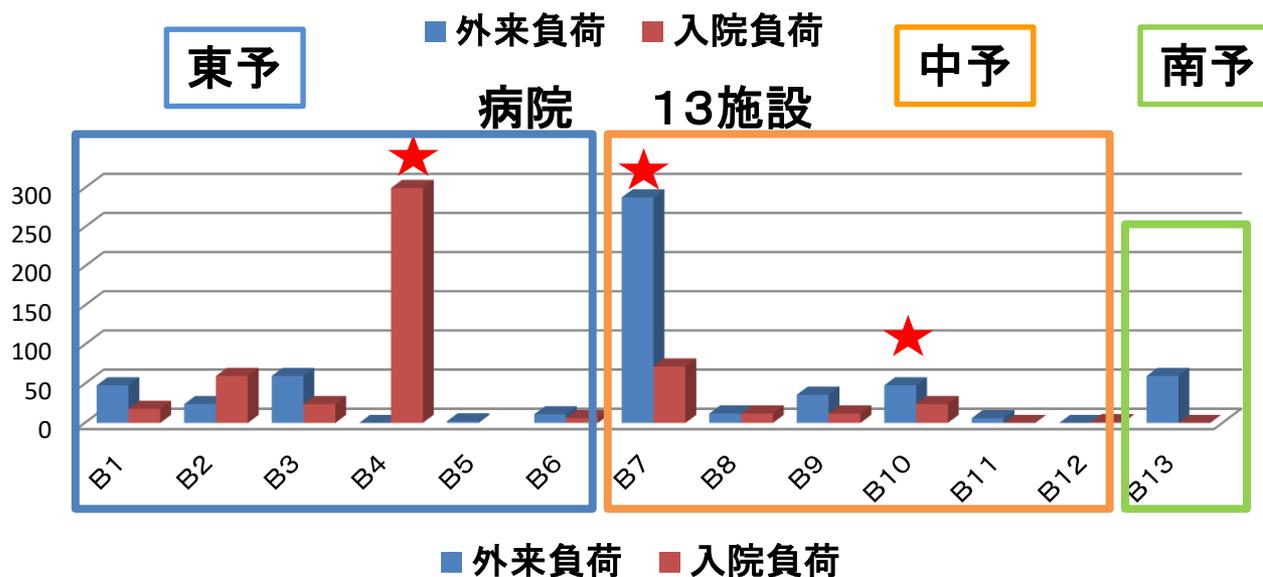
薬剤名	使うべき症状	使い方	使用した時刻
抗ヒスタミン薬	尋麻疹、かゆみ	内服	時 分
気管支拡張薬	咳・ゼイゼイ	内服・吸入	時 分
			時 分

エピペン:保管場所()使用時刻(時 分)

エピペンをうつべきか? 迷ったら、うつ!



負荷試験件数
 外来 800件
 入院 0件
 年間50件以上
 施行した施設
 3施設



負荷試験件数
 外来 600件
 入院 550件
 年間50件以上
 施行した施設
 8施設

★ 日本アレルギー学会専門医のいる施設

2011年 施設別食物負荷試験年間施行件数 (全県総数1950件)

食物アレルギー対策活動報告の概要

2006年以降の、愛媛県医師会/小児科医会のアレルギー疾患（特に食物アレルギー）対策活動の概要を報告する。

食物アレルギーに関するより最新の正しい情報の普及と、家庭、保育・教育（行政、教育委員会、保育士、幼稚園教諭、学校教諭、養護教諭、調理師）、医療（医師・薬剤師・看護師・栄養士）関係者のより緊密な連携を目的とし、愛媛県下市町で計16回「愛媛こどもの食物アレルギーシンポジウム」を開催した。

2024年度は県内のアレルギー対応均てん化のため、愛媛県医師会/愛媛県小児科医会作成の除去食連絡票と厚労省・文科省作成の園・学校生活管理指導表を統一した書式にする計画である。

愛媛大学医学部小児科・基幹病院小児科・開業医が連携した食物負荷試験の病診連携の現状を報告。
愛媛県の食物負荷試験実施件数は、現在全国都道府県で上位3位である。（2023年度日本小児アレルギー学会報告）